

令和7年度 林業普及週間現地情報

森林管理課

第1回 一般研修

令和7年9月4日(木)

令和7年9月4日(木)、県普及指導員及び県森林資源研究センター研究員 17名により第1回一般研修を行った。研修の内容は以下の4項目であった。今後は、研修をさらに活性化して、普及指導員等の知識・技術の向上に努めていきたい。

1. 改正クリーンウッド法

令和7年4月1日から施行された改正クリーンウッド法について、本県の木材流通状況を踏まえたうえでの留意点等を確認。受講者からは様々なケースにおける対応方法について質問が上がった。

2. 沖縄におけるタケ類の栽培

タケノコ生産量が昭和60年をピークに減少している中で、タケ類の分類、栽培方法の知見が失われることのないよう、基礎知識について講義した。受講者からは、生産適地や繁殖方法、調理の仕方等について質問が上がった。

3. 首里城復元の木材利用

現在進行している首里城復元について、県産木材や国産材の活用状況について講義した。県産木材の使用にあたっては、これまで普及指導員も連携して取り組んできたため、十分な知識は持っていたが、国産材の使用状況については知らないことが多いことから、よい情報共有ができた。

4. 普及関係研修のカリキュラム化

普及関係研修については、その時々必要性等に応じて不定期に開催されていたが、研修をカリキュラム化するとともに、トピック的なものだけでなく、基礎的な知見・技術等についても取り扱うことの必要性について意見交換を行った。今後、カリキュラム化に向けて具体的に検討を進めていくことになった。



(報告者：森林管理課 仲里・平田・石垣)